

広行監第2号  
令和6年7月25日

湖北広域行政事務センター  
管理者 松居 雅人 様

湖北広域行政事務センター  
監査委員 安原 徹  
監査委員 鏑田 明

令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算  
および基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項および第241条第5項の規定に基づき審査に付された令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算および基金運用状況について審査を終了したので、その意見書を次のとおり提出します。

# 令和5年度 湖北広域行政事務センター一般会計 歳入歳出決算審査および基金運用状況審査意見書

## 1. 審査の対象

- (1) 令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

## 2. 審査の期間

令和6年7月8日

## 3. 審査の方法

令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、関係帳簿、証憑書類等と照合を行い、計数の正確性、予算の執行状況の適否について審査を行いました。

## 4. 審査の結果および意見

### (1) 全般事項

審査に付された令和5年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、関係帳簿証憑書類等と照合のうえ、さらに内容について検討審査した結果、決算は正確であると認められました。

### (2) 新施設整備運営事業について

新一般廃棄物処理施設整備事業では、起工式以降、現地の造成工事が本格化され、それに伴い普通建設事業費が昨年度と比較して大幅な増額となりました。

また、施設名称の公募による決定や施設公式キャラクターを作成されるなど、環境に配慮し脱炭素社会への貢献が出来る施設でありながら、市民に親しまれるような施設を目指し、引き続き啓発に取り組んでいただきたいと思います。

この事業は物価上昇の影響を受け、当初の見込額より多くの建設費用が必要だと思われます。支出の根拠を明確にし、利用者に納得いただける説明ができるように努めていただきたいと思います。

新施設の稼働後は、公会計を活用した財務分析やPFI事業者のモニタリングを実施していくための管理能力等、幅広い分野で活躍できるよう職員研修の実施を行うなど、センター職員が十全に能力を発揮できるような体制の構築をお願いします。

### (3) 旧施設の跡地利用及び適正管理について

新施設への移転により稼働を終了していく施設について、公有財産の利活用方針に基づき、令和5年6月に伊香3斎苑の個別の方針を定められました。既に稼働を終了した旧施設は、防犯上の観点からも適正管理をされるとともに、計画的に跡地利活用を図っていかれるようお願いします。

### (4) 現施設の適正管理について

新施設への移転を控え、現施設の維持管理については、残りの稼働期間を見据え、極力投資を抑えつつも、安定稼働を継続できるよう、計画的かつ効率的な運営を図られるようお願いします。

### (5) センターにおけるごみの減量及び環境保全施策の展開について

ごみの減量目標値に比べて総ごみ処理実績値が令和5年度は下回る結果となり、ごみの減量目標をクリアしたと報告がありました。新たに行ったバイオマスごみ袋の導入などの環境に配慮した施策の実施や、ごみの再利用など、他自治体事例を踏まえたさらなるごみの減量につながる施策の検討をお願いします。

### (6) むすび

センターが担う業務は市民生活の公衆衛生確保のために必要不可欠であり、安定的に処理を継続することが求められます。今後についても、職員が一丸となり、業務が円滑に遂行されることを期待します。

## 5. 審査の概要

### (1) 決算総括

令和5年度における一般会計の予算総額は、38億5,215万1,000円で、これに対する決算総額は、歳入は38億6,057万7,847円、歳出は、36億4,856万1,473円、歳入歳出差引額、実質収支額は、2億1,201万6,374円となっています。

令和4年度の実質収支額が1億3,700万9,165円であったことから、単年度収支は7,500万7,209円のプラスとなっています。

### (2) 歳入総括

収入済総額の予算額に対する比率は100.22%となっています。調定額に対する収納比率については、99.89%となっており、使用料および手数料と諸収入（資源ごみ売却）とを合わせ、419万8,000円の収入未済額がありました。

収入総額に対する割合（構成比）については、分担金及び負担金が62.32%、使用料及び手数料が13.11%、国庫支出金が3.17%、財産収入が0.56%、繰越金が3.55%、諸収入が1.76%、組合債が15.53%となっており、分担金及び負担金が収入の6割を占める結果となっています。

### (3) 歳出総括

予算額に対する執行率は94.72%となり、支出済総額は前年度比135.49%となっています。

歳出総額に対する割合（構成比）は、議会費が0.05%、総務費が3.18%、衛生費が95.97%、公債費が0.80%となっており、歳出全体において衛生費が多くを占める結果となっています。

### (4) 財産に関する調書

#### ア 土地、建物

旧こもれび苑用地売却による土地の減少（8936.17 m<sup>2</sup>△）

県道拡幅工事に伴い県有地を交換したことによる新施設用地の増加  
（128.14 m<sup>2</sup>）

#### イ 物品

新規パッカー車の購入（1台）

伊香クリーンプラザ用軽トラックの購入  
（下取りありのため所有台数変更なし）

#### ウ 基金

基金の年度末現在高は、施設整備基金3億4,756万2,219円となっています。